

会 議 録

かわにし事業ディスカッション2014（第4回）

開催日時	平成26年12月21日（日） 午後1時00分から午後2時00分
開催場所	川西市役所 7階 大会議室
内容	市民公益活動団体支援事業の施策反映への経過報告
出席者	コーディネーター 清水 万由子
	メンバー （公募市民） 大塚 千恵子 岡田 忠純 小牧 満也 杉浦 一郎 藤本 美穂
	オブザーバー 石田行政経営室長
	市職員 船曳参画協働室長兼市民活動推進課長 清原市民活動推進課長補佐
事務局	総合政策部 行政経営室 経営改革課 （内線：2110）

会議経過

発言者	発言内容等
<p>コーディネーター</p> <p>市職員</p>	<p>そうしましたら市民活動推進課から、市民公益活動団体支援事業に関する経過報告をお願いします。</p> <p>2回にわたって皆さんと議論いただいた中で市民公益活動団体の課題ということを手挙げていただき、具体的な課題解決に向けた提案を列記していただきました。その部分で課題解決策、具体的な内容として情報の発信、情報の共有ということで大きく分けていただいて、具体的な部分ということで提案をいただきました。</p> <p>あとは、その他ということで、自治会自身の問題という部分にはなるわけですが、自治会自体の運営改革についても提案をいただきました。順に提案をいただいた内容を検討いたしまして、右のページのところにその経過といいますが、結果、我々のほうでもこうしていきたいというものをまとめています。</p> <p>まず、1点目、情報発信の中での自治会の情報です。そのエリアにどう自治会があるのかがよくわからないので、わかるような情報を発信していく必要があるということです。これについては、今まであまりイメージがなく、また自治会のエリアも全体的に調査がなかなか難しくできなかった部分もあります。ただ、できないかと言うとそうではなく、概ねさせていただき、さらに、もう一度自治会に調査をかけて、エリアがどうなっているのか、もちろんエリアというか、会員がいるかどうかによっても変わってきますので、最終確認します。公表となれば自治会の合意も得ないといけませんけども、当然どの地域にはどんな自治会があるのかというのは、知らないと困りますので、基本的にはホームページで発信していきたいと思っています。具体的には例年3月に年度が変わり、自治会会長が変更することもありますので、改めて依頼をお願いします。そのときに、我々が把握しているエリアを含めて確認していただくというような作業をしていながら、来年度に向けてできたらと思っています。</p> <p>それから、情報発信の2点目です。ホームページに自治会のバナーを作成し自治会のホームページ、あるいはフェイスブックに移動できるということで、自治会のバナーそのものというわけにはなかなかいけないですけど、参画と協働というタイトルがあり、そこへ開いていただくと市民活動が出てきます。そこをクリックすると、自治会、コミュニティという欄に行くようになっています。その自治会の部分にいただいたときに、活動状況とか、自治会加入しましょうみたいなタイトルとかで小分けしていますけども、そこに自治会のホームページを持たれているところについてはここに載っていますみたいなことで、既に掲載しています。ただ、なかなかホームページを活用して自治会が情報提供を発信するところは割と少なく、作業的にも難しい部分もあり、現状少ないですけども、既にリンクしていますので、今後また当然広く情報提供という形の発信はホームページあるいはブログというのが活用の幅を広げていく分ではあります。ここには具体的には書いていたっていませんけども、市のほうでフォーマットを作るというような提案もありました。それも含めながら何かをつくっていく方向で自治会にはお勧めし、こういう形の情報提供ができますということは広げていけたらと思っています。</p> <p>それから、情報発信の3つ目のフォーマット作成です。フォーマットはあえて書いていませんけど、今のような説明したことで考えていきたいと思っています。あと、具体的なWebサイトの活用についての学習は、市民活動センターでいろんな講座を行っています。自治会に限ったことではありませんけど、広く市民活動をという活動で、NPO、ボランティアも含め、一定の支援をしていくということで、講座は年間何回か開催</p>

発言者	発言内容等
	<p>しています。中心的にはNPO活動の支援的な部分でやっている講座が多くなっていますが、これから地域活動が幅広くなる中で、自治会活動も含めた地域活動全体を網羅できるような講座をできるだけ企画していきたいと思っています。その中で、Webサイトの活用みたいな講座も必要と思っていますので、市民活動センターを活用しながら、幅広く開催して学習の場を設けていきたいと考えています。</p> <p>次に大きな2番目にある情報の共有で、自治会長会議の提案をいただきました。確かに自治会長会議というのは、我々も行政と自治会長と自治会との間で情報共有するということが、重要な場であるということの認識を持って今まで開催しています。ただ、なかなか自治会長からも既に意見もいただいていた部分で、今回、提案いただいた本当に自治会間の情報交換といいますが、そういう場にはなり得てなかったという部分があります。そういう部分については、来年度から大きく方向転換しながら、できる限り情報交換、意見交換ができる場の提供、あるいは書いていますけど、一定の課題解決に向けて何か提案できるような講演を含めて自治会長会議を活用しながら、幅広く自治会活動に対しての支援ができるようにしていきたいと考えています。</p> <p>それから、会則の問題です。一部の自治会で会則をいただいているところもあれば、総会があったときに、総会の資料を送っていただける自治会もあります。そういうところは会則が載っておれば収集もしています。自治会の協力の範囲がどこまでいくかわかりませんが、どのような会則を持たれているかということで、収集ということについては、自治会と調整しながら話していきたいと思っています。おそらく、自治会の問題として指摘をいただいている役員の任期問題、それから自己点検の問題、そのようなものから、担い手不足の解消みたいなところもあり、これにつながっていくだろうと思います。現実的に我々として直接的にこうしてください、ああしてくださいというのは難しいという中で、会則を集めるということだけでは意味もないだろうと思いますから、それを見ながら、提案・指導という形はできませんけれども、このような課題がありますよというものが、会則の現状把握をする中で、指摘できることは可能と思っています。現在、地域、コミュニティをターゲットにして、それぞれ地域の自治会長に出てくださいまして自治会加入促進の検討会というものを設けています。今後、その促進会の中でも事業ディスカッションで提案いただいている内容を示しながら自治会としてはこんなことが必要みたいな話が具体的にできていけばと思っています。</p>
コーディネーター	<p>ありがとうございました。非常にコンパクトに、簡潔にご報告いただきました。メンバーのほうから経過報告についてももう少し詳しく聞きたいとか、もう少し具体的にどうですかというような質問があれば出していただきたいと思います。例えばこういうこと大事ですというふうな感想というか、意見でも結構です。</p>
メンバー	<p>自治会のホームページのリンクに関して、市のホームページから参画と協働というところから移動できる話をしていましたが、実際にどれぐらいの人が自治会のホームページにアクセスしているかわかりますか。</p>
市職員 オブザーバー メンバー	<p>済みません、ちょっと把握していません。 ヒット数だけは広報室で確認できます。 自治会にあまり興味がない人は、わざわざ市のホームページからアクセスするということは全くないと思うので、そういう人にもっと見てほしいのであれば、例えば掲示板とか、駅とかに置くとかのほうがまだ見えやすいと思いました。</p>
市職員	<p>ホームページの話とはずれてきますが、自治会というものに対するアピールという部分で、1つの例で、月1回、毎月の初日に自治会に加入しましょうののぼりを立てまして、市役所1階で案内しています。もともとの始まりは3月の転入時期に、新しい住民</p>

発言者	発言内容等
	<p>の方が増えますので、その集中的な時期に自治会の加入促進もあわせてしましょうということで、3日間ほど限定して3月から始めています。それをせっかく行っているので、初日だけ行っています。そういうことも含めて、自治会の問題についてどこかで触れるみたいなことはしていきたいと思っています。</p> <p>あと、地域からの要望がありまして自治会に加入しましょうというのほりですけど、各公民館にも置いてくれないかという要望もあり今、各市内公民館には自治会に加入しましょうのほりを立てていますので、来られる方の限定はあるかもしれませんが、目に触れる機会を設けています。</p>
コーディネーター	<p>ありがとうございます。きょうの点でも結構ですし、ほかの点でも結構ですが、いかがでしょうか。</p>
メンバー	<p>自治会について把握を進められるということですけども、せっかくすべて把握するのであれば、ホームページに掲載しそれにプラスアルファで、例えば広報誌の1ページにそういったことを使って、何々自治会は大体このあたりの地域の方ですみたいな表でもいいので、1つのPRに使えばさらには広い方にできるのではないかと思います。</p>
コーディネーター	<p>いかがでしょう。すでにされているか、どうでしょう。</p>
市職員	<p>何かいい方法があればという思いはあります。ただ、エリア図にするとかなりのページになります。それを紙媒体で活用しようとする冊子ができるような形になりますので、そこはちょっと具体的に何か方法はあるのかを考えてみたいですけど、1つは今までできていなかったというのはありますので、市民活動推進課に来ていただければわかる。だけどそれ以外はわからないという状況ですので、ホームページが第一歩という感じはしています。紙ベースで提供できるようなものができるかどうかは今後検討したいと思っています。</p>
メンバー	<p>私の知り得る範囲で、市の方に変わって言うようでおかしいですけど、自治会そのものは割と大きな自治会もあるし、隣の地区は、20いくつが1つのコミュニティとして自治会があるというようなことで、なかなか言葉で言うというのは難しいです。たまたま隣同士で横断的な連絡会をやってわかりますけども、一自治会、一コミュニティのところは我々のところでそれ以外はさっき言ったように20いくつの自治会が1つのコミュニティをつくっておられるというようなことですから、あの地域で20いくつということは相当いろんなところに小さい自治会があります。だから、現実には文書で載せるのは難しいと、ちょっと私が言うことではないですけども、たまたま隣の自治会がそういう極端な例で披露しました。</p>
コーディネーター	<p>ありがとうございます。そのあたりはどのように表現するか検討してください。</p>
メンバー	<p>それと、先ほど説明いただいた中で自治会長会議、これは年に1回で、私の知り得る限りにおいては5月か6月ですが、比較的早い時期に行っていると思います。</p> <p>ところが、例えば自治会長が問題をいろいろ経験して、さあ情報として皆さんに提供し、自分なりに知見ですか、知識になるという6月ぐらいではちょっと無理だと思います。例えば6月に1度やっていただき、その集大成として秋か冬に行うと約1年の経験のもとに、だいたい役員の任期は1年ですから、そのぐらいの時期になると自分の経験したことが情報として発信できると思います。6月では、前に会長が執行部会で言ったのは、何もよくわからないうちに顔合わせ的なことで、せっかくやっていただいてもそんな程度ではもったいないというのは、私の感想でこの場でも申し上げたと思います。ですから、2回が無理であればもう少し経験をし、いろんな自分のところの自治会としての問題点でしか把握できないと思いますが、もう少しあとのほうで情報交換のほうありがたいと思います。</p>

発言者	発言内容等
市職員	<p>ありがとうございます。指摘いただいている時期に自治会長がかわれて、まだ早い時期でわからないという部分もありますけども、市議会が終わった日程を見て、6月末、あるいは7月の頭にかけて行っています。今まで市との情報共有をテーマにしており、市長のほうから今年度の施政方針を自治会長に説明していただいて、それをもとに意見交換をするというようなことがある種メインで行っています。その中でどうしても自治会が抱えている課題もテーマには上がってきます。時期的にそれを念頭にした段階で情報共有というのをメインにしていた関係でそのようになっています。指摘いただいたように、例えば2回開催するというような考えを持ち合わせてなかったわけですけども、いい内容にするために2回開催が必要なのかもどうかも含めて、時期をずらすのか、そういうことについても検討していきたいと思います。</p>
コーディネーター	<p>ありがとうございます。今の点ですけども、1年でかわられる会長が多いのであれば、その経験者に6月のときに講演していただくとか、何か経験を引き継ぐようなことができれば、もし2回が難しければそういう形もあると思います。</p> <p>ほかにいかがでしょうか。どの点でも結構です。それでは、私のほうからですけど、先ほどホームページで、リンクされているということだったので、ちょっと見ましたが、たどり着けなかったです。以前、私が住んでいたところは、引っ越しで転入届をするときに、市に来られた方へという形で、ごみ出しの方法であるとか、いろんな資料を渡していました。そのときに、自治会の加入書とかも渡す順になっていて、そういうこともされていると思います。Webサイトにも例えば川西市へ来られた方へというような形で、初心者マークみたいな感じで、川西市で暮らすための情報一覧みたいな形で、その中に、自治会の情報をリンクできるようにすると、ちょっとアクセスしやすいといいですか、わかりやすいと思います。</p>
メンバー	<p>転入されて来られた方が自治会に入ると言ったときに、受け皿というのは、自分が住んでいるところの一番身近な班が手がかりになると思います。私のところの自治会は、誰が班長というのが全くわかりません。会長、副会長を含めて。今日、来る前に自主防災会の集まりがありまして、その場でもちょっと話がありました。防災のときに、避難、それから誘導、そのような案内も含めて、7割の加入率の自治会しか組織化できていない。コミュニティは、具体的に手足となる方は役員ぐらいで、メンバーとして定型的に引き続いていくといいですか、自治会の班長のような形がないです。ということは、私はこの自治会に入りますと言ったときに、まず行きあたるのが誰に言っていったらいいのかというところが私の自治会の欠点になります。今後、改善の提案をしていきたいと思いますが、そういう7割であっても自治会を運営しているものが1番少なくともカバーできるということからすると、新たに転入してきた人が自治会へ入ろうと言ったときに、まず入る手立ての方法を自分で探すということが少なくとも受け入れ側の自治会でちゃんと対応を整えた上でどうぞお入りくださいというふうにするのが本来だと思います。これは反省もあって、今日の午前中たまたま話をしましたので、そういう方向で情報共有すると各自治会でうちはこんなんやっていますというところも多いと思います。</p>
オブザーバー	<p>私も市内に在住で、以前に班長と役員を兼ねていたことがありました。私の自治会では役員会で転入者があれば、まず班長に加入申込書を持って行ってもらう。班長は隣に入ってきたとなれば、それを役員に伝えて、役員が役員会で新しく入ってきた方がいらっしゃるというような報告を上げるようになっています。それに基づいて班長が、家のほうに申込みと、実際にお会いしてくださいというところまで求められます。実際に新しい家に行って私このブロックの班長をしておりますということで案内をして、若い</p>

発言者	発言内容等
市職員	<p>方でしたけど入っていただいたというようなそんな経緯がありました。私の自治会だけかもわかりませんが、割と役員会ではためにそういった新しく入って来られた方の情報は上げるようにというような徹底が随分されています。</p> <p>もし転入されて自治会に入りたいという発意を持っておられる方ということを前提に話をしますと、市でも転入者にはいろんな関係の書類を渡して、その中で自治会に入らましようというチラシを入れて、チラシの裏に加入申込書を付けています。今までは単にチラシを渡すだけで自治会長を知りたければ問い合わせくださいみたいなことだけを入れていました。それを廃止しまして、加入申込書を付けて市民活動推進課にファクスくださいと、我々のほうから自治会に連絡して、そこから連絡しますということで切りかえました。もちろんどんどん来られるわけではないですけど、去年1年間でしたら、30軒ぐらいは一応申込みいただき、やっぱり発意がある方は連絡しやすくなったと思います。そういう意味で、自治会のほうから呼びかけをしているという部分はちょっと変わってくる部分はありますけれども、少なくとも発意がある方はそういう形でやりやすくなっていると思っています。</p>
メンバー	<p>30何軒の加入申込みの中に、私の自治会のほうも何人が加入していただいていると思います。私の自治会では会員の訃報があれば必ず皆さんに報告しますが、新たに入っていただいた方は、一番大事ですけど、執行部会で一切報告がありません。というのは、総数では1カ月会員を管理する担当の役員のほうから、1,300何軒のうちプラスが班ごとの人数はありますけれども、具体的には、名前とか、何丁目のどういう方がお入りいただいたというそれが欠けています。だから情報が共有できてないから、ただ、数字としてしか把握できてないので、先ほどの役員が誰であるかという周りに知っていただくということも欠落しているし、どなたにお入りいただいたか、だからどなたにというのがわからないから、当然、副会長5つの地区を5人で分けて管理しても、全然そこにも情報は来ないし、ブロック長にも多分班長にも本人からアプローチがないとわからない状況なので改善していきたい。せっかく5万円をいただいて加入促進を行って、万歩計で行ってはいるんですけど、もう少し具体的にやるべきだったというふうに思っています。例えば班長が誰という札をつくって、それを該当者に渡すとか、そういうのも使い道だったし、来年も引き続いてやっていただいたら多分それで作ると思います。今年で終わりというのが残念です。</p>
コーディネーター	<p>ありがとうございます。そういったことも恐らく自治会長会議であるとか、さっき言われた自治会の加入促進のための会議というのであれば、アイデアを交換するとか、いろんなやり方があるということをお互いに学びあえるような場をつくっていただければと思います。</p>
メンバー	<p>今、班長をやっています、新しい方が入っても班長に情報は入ってきません。近隣で亡くなった方がいた場合も、どのようにしてその連絡がいつているかというシステムも実は班長になりながら知らないのが現状です。何となく近所の方にどうやってされていましたというのを聞きながらやっているのがあるので、班長になっても、やり方が学べる場所というのが現状ないです。今後その個々での指導みたいなところも検討いただければ非常にうれしいと思いました。</p>
市職員	<p>正直、自治会のメンバー加入促進だけではないですけども、日ごろ自治会の活動をどれだけ会員に伝えていくのかというのは、自治会の課題だと思います。それを我々の口からこれができていません、あれができていませんとは言えないです。ただ、加入促進も含めて、自治会が本当にどういう形でやっていかないとそれは当然入りませんとか、あるいはやめていきますという形だと思います。それに、先ほど話しましたが、加入促</p>

発言者	発言内容等
メンバー	<p>進の検討会を設置して、アンケートをベースに今後議論をしていきます。議論の中には、できれば自ら変わっていかないといけない、そうしないと当然、自治会加入促進どころか既存の人も辞めていくという、そういうようなものも意見交換として出てきて発信できればと思っています。だから、そういう中で内部ができていないことを表明するというのは、実際難しいですけど、やっぱりどこかで意見が出ながら自己反省ではないですけど、そういう部分をいかに諮っていくかという部分で、議論が発展できればというふうに期待しています。</p>
メンバー	<p>私の自治会の場合、2月に班長になる人に集まっていたいでそこで役を決めるとともに、そこで一応班長マニュアルという20何ページのいろんな細目を書いた資料を渡しています。その中には訃報の場合は、こういう用紙にブロック長なり、班長なり、ブロック長から、副会長に渡し、訃報の場合は原則お葬儀、もしくは辞退なさったときは後日、自宅へというふうなことを行っています。さっきの話ですが、新たに入っていた方に対してはこうしましょうということがないので、それは今度の班長会で提案していきたいと思っています。もし、参考にされましたら、私の持っているマニュアルを見せることは可能です。ただし、地区によってもそれぞれ違うので、それを参考にして新たに組み立てられたらいいと思います。</p>
メンバー	<p>ありがとうございます。班長マニュアルがあることも初めて聞きました。私の地域ではノートと回覧板と、あといわゆる家の前に何て言いますか、隣保長であるとか、班長であるという札を渡されてお願いと言って、それ以外は特に説明がないので、非常に参考になります。</p>
コーディネーター	<p>ほかにもいかがでしょうか。こういうやりとりがどんどん増えてくるといいです。</p>
メンバー	<p>いろいろ対応していただいているということで、ありがとうございます。ちょっと各論的なところで、私は実際自治会に参加していないので、全くわかりませんが、川西市は一応関西でも高齢化が進んでいる郊外ニュータウンが非常に多いということで、非常に先端と言いますか、先に高齢化を迎えてしまう都市だと思えます。主たる産業と大きな産業もないので、ベットタウンというような言われ方をします。そのベットタウンの中での自治会の位置づけというのが非常に大きくて、高齢化を迎えるベットタウンで自治会がどういう役割を果たしていくのかという中で、注目されている部分もあるかと思っています。そのような観点で、どのように取り組まれていくのか、川西市がどういう問題を抱えているのか思いながら発言をさせていただいたり、いろいろ議論を聞かしていただいたりしましたが、複雑な事情がたくさんあり、実際の運営されている方が高齢の方が多いということもあり、軸足がどうしても現状の運営の方に寄ってしまっていて、それで自治会頼みというようなところがかなりあって、市役所としてのかかわり方というのなかなかどこまで突っ込んでいいのかが難しいというような話を聞いています。一方で、これからを担っていく若い人が10年後、20年後どのように応募するのかというのをにらんでおかないと、今の運営のところばかり見てもなかなか難しいということで、ホームページのことであるとか、いろいろやっていただいているような感じだと思います。確かに今そういう新しいというか、ネットワークであるとか、コンピューターを使ったような作業というのは難しいのかもしれないですけども、こつこつと浸透していただいて、次の世代にうまくつないでいくような取り組みをやっていただきたいと思っています。</p>
コーディネーター	<p>ありがとうございます。確かに人は変わっていくというか、世代がどんどん変わっていきますので、その時代時代にあった方法というのもまた考えていく必要があると思います。ほかはいかがでしょう。何かこれまで議論に上がっていないような点でもう少</p>

発言者	発言内容等
メンバー	<p>し詳しくとかいうことがありましたら。</p> <p>今回のディスカッションの中で、市側から自治会に入ってもらうためにどうしたらいいか、ホームページを作成するというのがメインになってきましたけど、今度、ホームページに掲載した場合に、次の課題として、自治会それぞれがどういった魅力的な自治会をやっているかというPRにつながっていくと思います。せっかくPRしていくための準備をしていくにあたって、このPRをしていくということも一緒に進めていけないと外からこういうのがありますって市民の方とか、入られていない方にPRをしたところで、それを目にしてもその自治会の内容がわからなかったり、結局そこに入って私は何をやるのということが疑問になると、知っても入らないってところにつながっていくと思うので、班長会であったりとか、そういったところで多分されていることは思いますけど、こういった活動をしていますとか意見交換であったり、ワークショップ的に班長の中でやっているかやっていないかだけでなく、こんなことをやってみたいとか、そういったのもあわせてやっていかれるともっと加入率が増えるのではないかと思います。</p>
市職員	<p>自治会加入促進という部分で言っていたように、今回の件で市からどれだけの支援ができるのか。もちろん、話しているように自治会がどうしていくのかということもあわせてやらないと当然だめで、指摘のような部分があって、繰り返して申しわけないですけど、検討会をつくって、その前提としてアンケートを取っています。まだ集計中ですけども、指摘いただいたような、何をやっているかわからないから、入っている方でも入ってはいるけどわからないみたいな部分の意見もあります。そこを検討会、自治会長が代表で出てきていただいて、そういうこともアンケートでいろいろ書いていただいている部分がありますので、どれだけそのことを分析して発信していくのか。いわゆる自治会側として本当にどう加入促進を図っていくのかということの部分で、報告ができればと思っています。それが今言っていたようなことに繋がっていけばと期待しています。</p>
コーディネーター メンバー	<p>ありがとうございます。まだもう少し時間がありますけれども。</p> <p>自治会としてどういう活動をしているのかということに対して、お答えできるのは、今までやってきたことを今後も継続してやっていく1つの住みよい町、住みよい地域をつくと、これがどう評価されるかです。その単にそれだけだったら会費を払って、自分も役があたってということであまり入らない人にとっては魅力がないみたいです。我々も自治会に入ったら何のプラスがあるというのは、たまに露骨に聞く人もいますけど、やっぱり自治会、福祉委員会、地区防災会、こういういろんな組織で住民の安全を住みよい町をつくることに対して活動して、運営するために会費として徴収していますと言ってもあまりぴんとこないです。具体的に何かもらう。今回であれば例えば自治会入ってくださいと言って万歩計を配ったらそれはもらったなという感じですけども、日常というのはそんなに目に見えて何か自治会から還元することというのはないわけです。活動を通して還元しても、期待するのはやっぱりそうじゃないです。皆さん自治会に入るとどういうメリットがあるのですかというのを聞く人がいます。だけど、それは答えようがないです。住みよい安心して暮らせる町を、みんなで作っていますということしか言えないです。</p>
コーディネーター	<p>それはこれまでの2回の議論の中でもたびたび話題に上がって、自治会の存在意義と言いますが、なかなか伝わりづらく、PRというふうになりにくいというところがあると思います。でも、その自治会の活動を見直す中で、自分たちが一体地域に対して何をしているのだろうかということ自分たちの中でもう1回振り返っていただいて、それ</p>

発言者	発言内容等
メンバー	<p>をうまく伝える方法を何とかサポートして、地域の中でも自治会の存在の必要性とか、そういったことをもう少し伝えていけるようなそういったことも市のほうも少しサポートという形で、いろんな会議の場であるとか、自治会同士の交流の中から見つけていただけのような形で持って行っていただけたらというふうには思います。</p>
メンバー	<p>先ほど高齢化していくベッタウンという話があったと思うのですが、役員の任期を複数年にすることで、時間もあって自治会に対してやる気のある方にとってはすごいいいことだと思います。そのほうが運営もよくなると思いますが、そうすることによって、役員になることに対しての敷居が高くなってしまおうと思うので、その穴を担い手不足の解消するためにNPOで埋めるというのではなくて、まずは若い世代にも担ってってもらえるように負担を軽減できるような何か取り組みができないのか。私は自治会とか、役員もやったことはないの、何かそういう負担の軽減ができるようなものがあればお伺いしたいと思いました。</p>
メンバー	<p>今の自治会というのはルーチンワークが自治会活動の中で大きくウエイトを占めています。お金もそうですし、役員とか、あと班長も含めて、だけどヒントになるような目新しいものもあれば我々もぜひ飛びつきたいですけども、どっちかとそういう地味な部分で労力ばかりかかる。だから役が来る手前で辞めるという人が増えています。本当に何かいい魔法の杖でもあればいいですけど、我々受けてやっているものについては、地道ながらもやっぱり1つのルーチンワークを今までやってきていいものは残していきたいという思いもありますし、だからお尋ねになったことをお答えがどうできるかというのは、ただ1年間一生懸命やっているというだけしか言えません。ふるさと祭りとか、運動会とか、いろいろ行事もありますし、役をやると確かに大変です。そこへ行って参加するだけでなく、その選定を含めて企画から入るから余計にしんどいです。でもやったあとはやってよかったとは思っています。</p>
オブザーバー	<p>以前の議論の中でも、例えば担い手が偏ってとか、その議論があって、恐らくそのときにもちょっと話が出たように、その負担軽減を図っていこうと思えばいろいろ仕事があって、それを役割分担のもとにシェアしていくしかない。そのシェアの仕方は義務的にこれをやってくださいと言うよりは、それを得意としている方に参画いただいて、少しラフなところからあんまりこれをいつまでにという部分ではなく少しお手伝いをしてくださいというような入り方をしてもらうのが必要で、それを探してくるためには、人材バンク的な何かこれが得意な人、手を挙げてくださいというようなところから入って行って少しずつその人のやりがいであるとか、この地域での活動というようなところへ認識していただいて、理解いただいて、協力して行ってというのが一番あるべき姿というようなことを思っています。</p>
コーディネーター	<p>ありがとうございました。そういうことができるようになるためにももう少し自治会の存在というのか、そういうのをもう少し発信するというか、理解してもらおうということも必要だと思います。さっき、話を聞いてちょっと思ったのですが、例えば、小学生とか、中学生とか、子どもとか、若い人に、自治会活動をちょっとだけ一緒にやるとか、何かそのやっている人たちとは違う目でそういうのを見てもらって、あっ、こんなことをしている人がいるとか、何かそういうのを書いてもらうとか、何かどうしても私たちの世代の感覚だとフェイスブックとか、ブログとかというので、結構、気軽にそういうのって個人で写真を撮って感想を書いて発信したりとかというのもすごく身近というか、ハードルが低いです。なので、そういうちょっと子ども会の活動とかちょっとわからないですけども、そういう若い人たちと何かやってみるみたいなこともいいのかなと、そのほうが人の発信力を借りてやるというのもいいのかなと思ったりもしました。</p>

発言者	発言内容等
メンバー	<p>自治会から若い人へのアプローチというのは、先ほども話したように、ふるさと祭りとか、運動会とか、それから秋の音楽の夕べとか、発信しています。それを受け取った若い方から自治会に対する意見、感想は全然ないです。一方的な発信だけで、そこからの何かを意見を聞いて自治会をどうしようというところまで現実には至っていません。じゃあ、聞いたから何かできるかという、それもどうかと思うのですが、既存の役をやっている人の思いがあるから聞かないかもしれないです。また違う意味で、聞くことによってすごく参考になることがあるかもしれないと思います。否定はしませんが、現実、なかなかできてないというのが事実です。</p>
コーディネーター	<p>自治会が行っている仕事の消費者に終わらないようにしてもらおうというか、その住民の方がサービスの受け手ですといるのではなくて、サービスをつくっている、提供をしている人たちの思いとか、活動することをもうちょっと知るといい機会が増えたらいいと思いました。</p> <p>そろそろ時間のほうが来ますので、この問題、この間の議論だけですべて解決できるという問題でもないでしょうし、1年、2年でよくなるということでもないと思います。長期的な取り組みをしていただくということではありますが、今回の議論をもとに、今後の事業の改善ということでは、1つにはその入口をきちんと整備することだと思います。ホームページで、自治会の名称・エリアをきちんと表示できるようにしていくと、入りたいという意志がある人はどこへアクセスすればいいかということも明確にして、市でされているその取り組みを今後も続けていっていただくということです。</p> <p>それから、もう1つは、自治会の間での学びあいというのか、情報交流などを通じてそれぞれの自治会でやられていること、できていないこと、そういうことに気付く、あるいはどうしたらいいのかということについて知る手がかりを得ていただく、そういう場をつくるということが2つ目になると思います。役員の方の負担軽減のための様々な人材を発掘するであるとか、あるいは会則を変更していくとか、自治会そのものの自己改善というところに持っていったらというところで、そこへなかなか一足飛びにはいかないと思いますので、まずはその入口を整えるということと、自治会の主体的な気づきを促す場をつくっていただくということになると思います。特に、ここだけは言わしてほしいということがもしあれば最後よろしいですか。</p> <p>市民公益活動団体支援事業については、これまでの議論をまた踏まえて、事業改善をお願いするということで、終了にしたいと思います。</p> <p>どうもありがとうございました。</p>